



あとがき……………54

7 食育の仕上げに、たくあんづくり……………48

6 地球との絆を取り戻す……………43

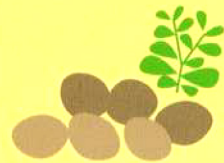
5 野菜の生きる力を食べる……………34

4 野菜の生長に心を寄せる……………26

3 生ごみを土に帰す……………12

2 準備するもの……………7

1 はじめに……………2



お野菜さん ありがとう!

子どもと一緒に元気野菜作り



吉田 俊道

よしだ・としみち

1959年、長崎市生まれ。九州大学農学部大学院修士課程修了後、長崎県の農業改良普及員に。96年、県庁を辞め、有機農家として新規参入。99年、佐世保市を拠点に「大地といのちの会」を結成し、九州を拠点に生ごみリサイクル元気野菜作りと元気人間作りの旋風を巻き起こしている。

2007年、同会が総務大臣表彰(地域振興部門)を受賞。2009年、食育推進ボランティア表彰(内閣府特命担当大臣表彰)。長崎県環境アドバイザー。



1 はじめに

子どもたちと作る、
とんでもなく元気な野菜！

とにかくできた野菜が、普通の野菜と比べてはつきりと味が違う！

農薬は何も使わないのに、病気はまったく出ないし、虫害もほとんどない！

園舎の前の運動場の一角で、初めて取り組んだ元気野菜



何より、子どもが野菜大好きになつて、心から「お野菜さんありがとう」つて思えるようになる！

まさに食育の原点「食べものを心から大切に感じる心」が育つのです。

そんな最高の元気野菜作りが、今全国の幼稚園、保育園、小学校で広がり始めています。土作りから始まって野菜を育てて食べるまでには、数多くの面白いエピソードであふれ、しかも実益いっぱい。



校舎横の砂利の余地が、1年でみごとに生ごみリサイクル畑に

こんな楽しい話は、まもなく全国でブームになるに違いないと思いました。

そこで、これまで取り組んできたたくさんの体験を集めて小さな本にまとめました。

この本はただの生ごみリサイクルのノウハウ本ではありません。子どもの生きる力をはぐくみ、やさしい子どもが育つために、その絶好の教材である生ごみを使って、大人がどう子どもに向き合っていくか？そのヒントを寄せ集めた本だと思っています。

とにかく、まずは読んでみてください。次章の、「②準備するもの」は飛ばして構いません。たくさんさんの感動とともに、このとんでもなく元気な野菜を作りたくてたまらなくなるでしょう。

やり方は、ほとんどこの本に書いてありますが、わからなくなったら、巻末の事務局に電話してください。

No Preview

No Preview